

とろろこんぶシステム工房

WebScope Ver1.0.2a

ユーザーズガイド

for Windows 7(x64), 7(x86), Vista(x64), Vista(x86), Xp(x86)
2010/03/10

とろろこんぶシステム工房

WEBレスポンス監視

目次

	ページ
1. はじめに	2
1-1. 動作環境	2
1-2. ライセンスについて	2
2. インストール	3
2-1. インストールの準備	3
2-2. インストール	3
2-3. アンインストール	7
3. 起動とライセンス設定	8
4. 設定	10
5. 操作ボタン	11
6. ログファイル	12
Appendix A CHtmlView クラス	13
Appendix B. セットアップツールに付加されているデジタル証明書について	14

このマニュアルは WebScope Ver1.0.2 の操作方法を記述したものです。

1. はじめに

このソフトは Web サーバとネットワークの総合的なレスポンスタイムを定期的に測定し、ログファイルに出力します。システムレスポンスの監視、システムレスポンスの改善を行うことができます。

任意の URL (ホームページ) に対して定期的にリフレッシュ (更新) 要求を出し、ページが更新されるのに要する時間をログファイルに吐き出します。

ログファイル名は任意に設定でき、リフレッシュ間隔は分単位で設定できます。

1-1. 動作環境

このソフトウェアは次の OS 上で動作します。

- ・ Windows 7(x64), 7(x86)
- ・ Windows Vista(x64), Vista(x86)
- ・ Windows Xp(x86)

InternetExplorer がインストールされている必要があります。

詳しくは AppendixA を参照ください。

1-2. ライセンスについて

このソフトウェア利用するにはライセンスが必要です。ライセンスには企業ライセンスとパーソナルライセンスがあります。また、昨日が限定されますが体験使用もできるようになっています。

企業ライセンス (企業向け)

企業向けのライセンスです。WEB サーバのレスポンスログを取得し、監視することを目的にしています。フル機能 (定期リフレッシュとレスポンスログ出力の機能) が利用できます。

パーソナルライセンス (個人向け)

定期リフレッシュ機能のみご利用いただけます。株価チャートや最新のニュースサイトなどを定期リフレッシュ表示し、最新の情報を常に表示することを目的にしています。レスポンスログ出力機能はご利用いただけません。

体験使用

フル機能 (定期リフレッシュとレスポンスログ出力の機能) が利用できますが、回数が 10 回に制限されます。

	企業ライセンス	パーソナルライセンス	体験使用
定期リフレッシュ	回数制限なし	回数制限なし	10回に制限
レスポンスログ出力	回数制限なし	×	10回に制限

ライセンス注文方法

ライセンス注文書に必要事項を記入の上、メール、FAX などでお送りください。

2. インストール

2-1. インストールの準備

インターネット上からダウンロードなどして入手した場合はファイル名が webscope****.zip になっています。圧縮ファイルですので解凍してください。

解凍によって インストーラ setup.exe が生成されます。

2-2. インストール

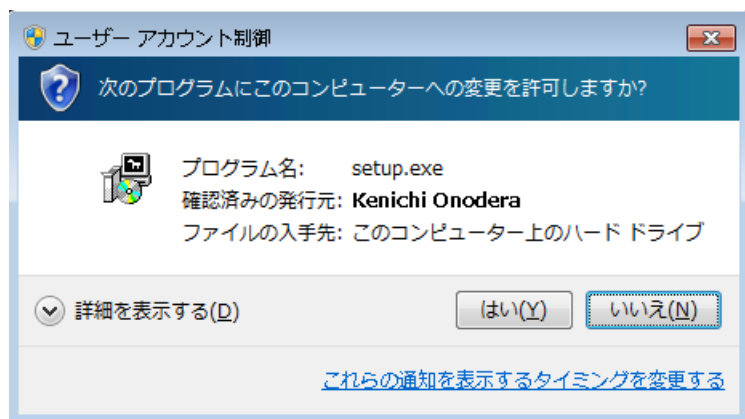
手順0) Excel/Word が起動している場合は終了させてください。

手順1) setup.exe をエクスプローラ上でダブルクリックするなどして実行します。

承認はんこのインストーラ setup.exe には グローバルサイン社発行のとろろこんぶシステム工房 代表 小野寺健一(Kenichi Onodera) のデジタル証明書が付加されています。パソコンにグローバルサイン社のルート証明書がインストールされていない場合は「発行元：不明」の警告が表示されます。詳しくは「Appendix B. セットアップツールに付加されているデジタル証明書について」を参照してください。

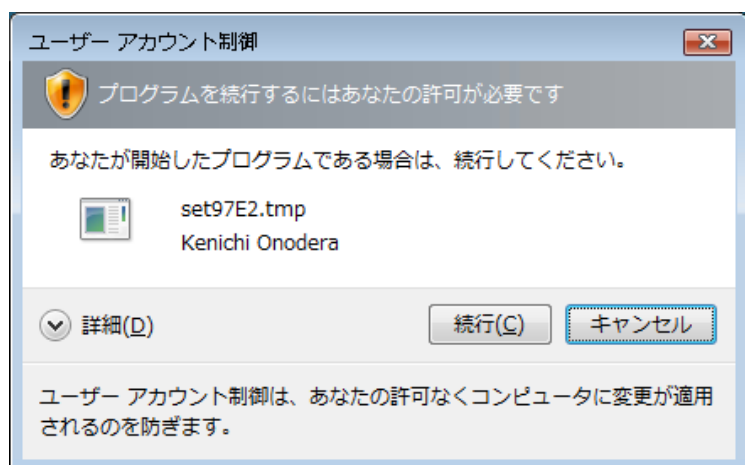
【Windows 7 の場合】

右図の表示が出ますのでボタン「はい」をクリックしてください。

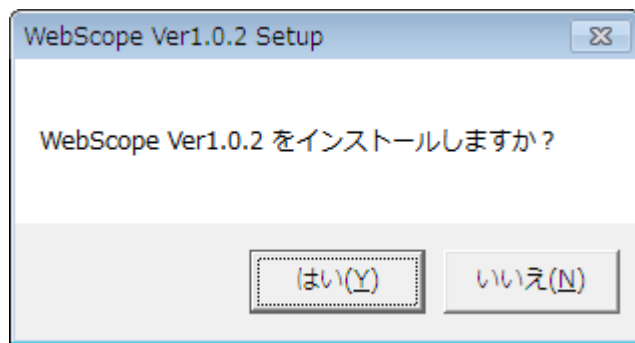


【Windows Vista の場合】

右図の表示が出ますのでボタン「続行」をクリックしてください。



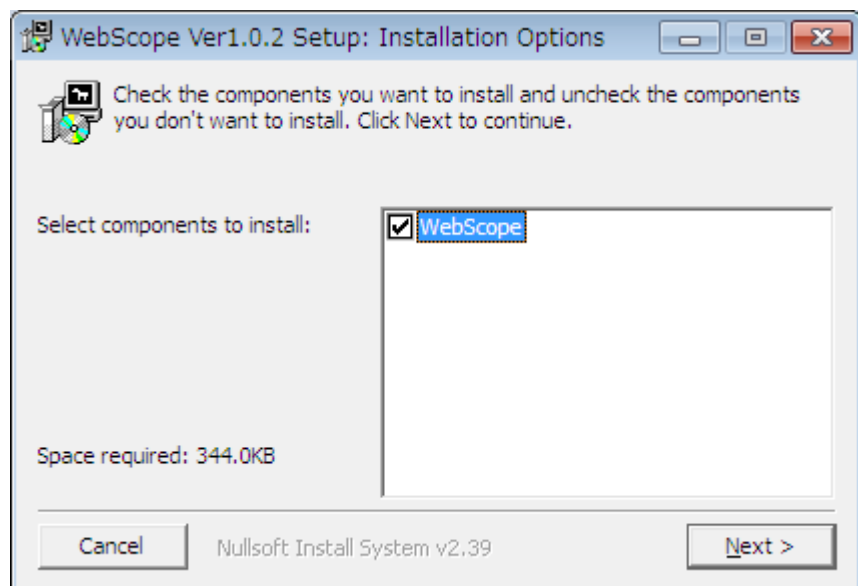
手順2) インストーラを起動すると確認のメッセージが表示されますのでボタン「はい」をクリックします。(右図)



手順3) インストールするモジュールの選択ダイアログが表示されます。

インストールするモジュールを選択します。

ボタン[Next >]をクリックします。
(右図)

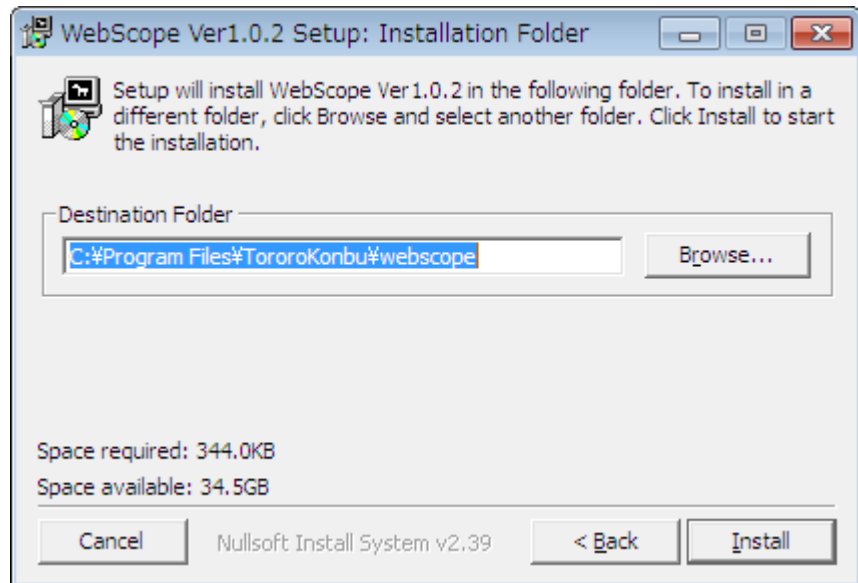


手順4) インストール
フォルダーを指定しま
す。

インストール先は任意
に変更できます。

ボタン[Install]をクリッ
クします。

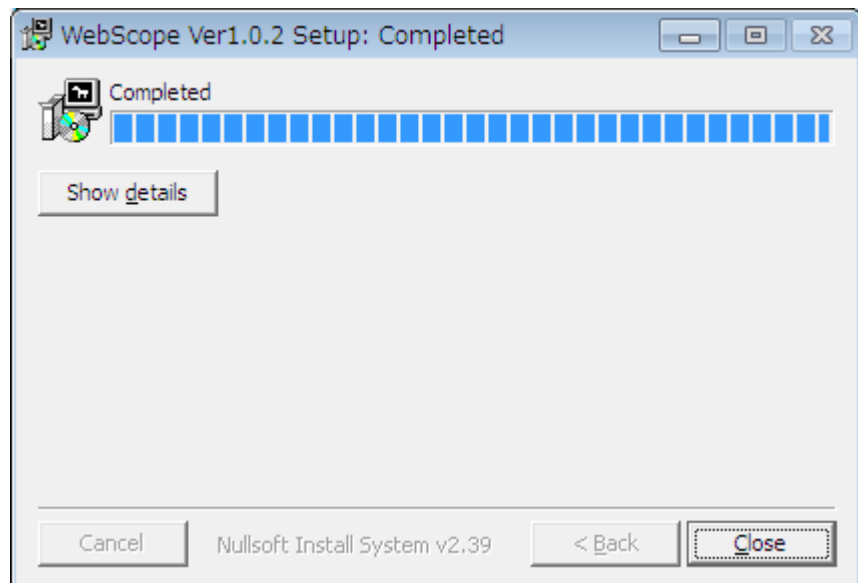
(右図)



Completed が表示さ
れればインストールは
終了です。

ボタン[Close]をクリッ
クし、 インストーラを
終了します。

(右図)



Windows 7/Vista の場合、インストール終了後、「このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります。」と表示されることがあります。

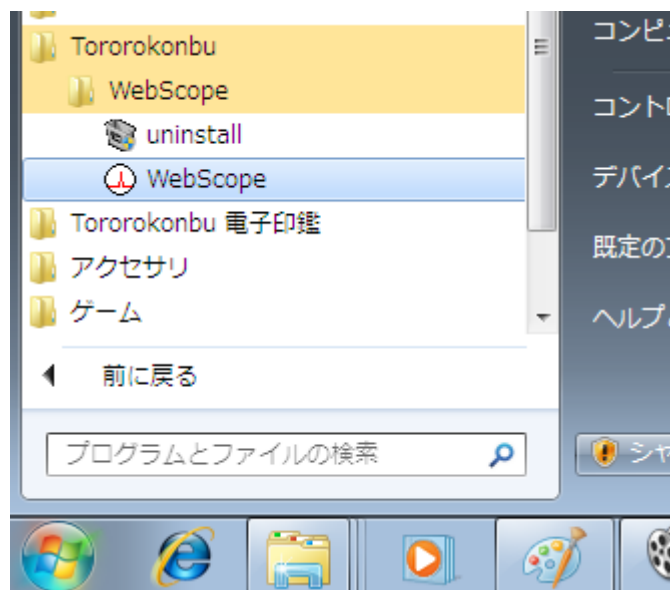
「このプログラムは正しくインストールされました。」を選択します。

(右図)



インストールが終了すると、スタートメニューにインストールした実行モジュールが登録されています。

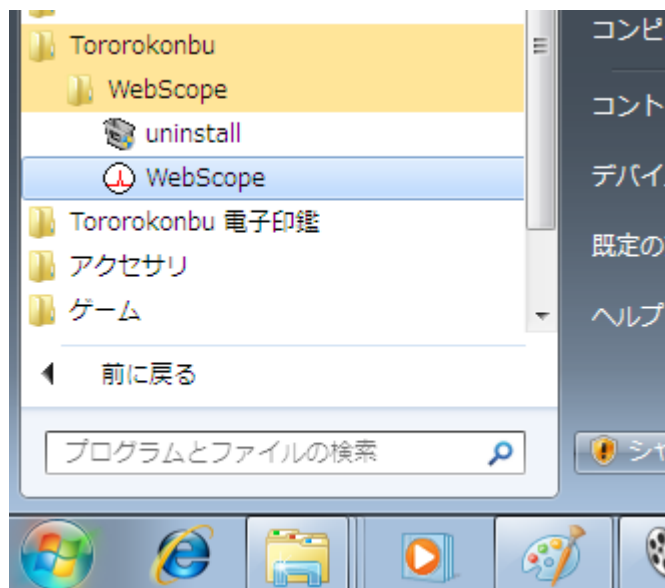
(右図)



2-3 アンインストール

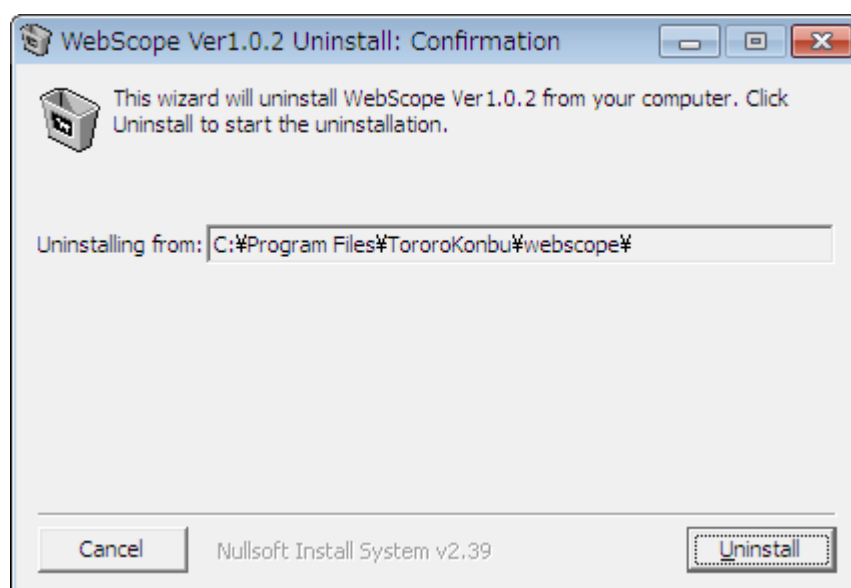
アンインストールはアンインストーラで行います。

アンインストールはスタートメニュー [Tororokonbu : uninstall] を選択すると実行されます。(右図)



アンインストーラが起動したらボタン [Uninstall] をクリックします。

(右図)

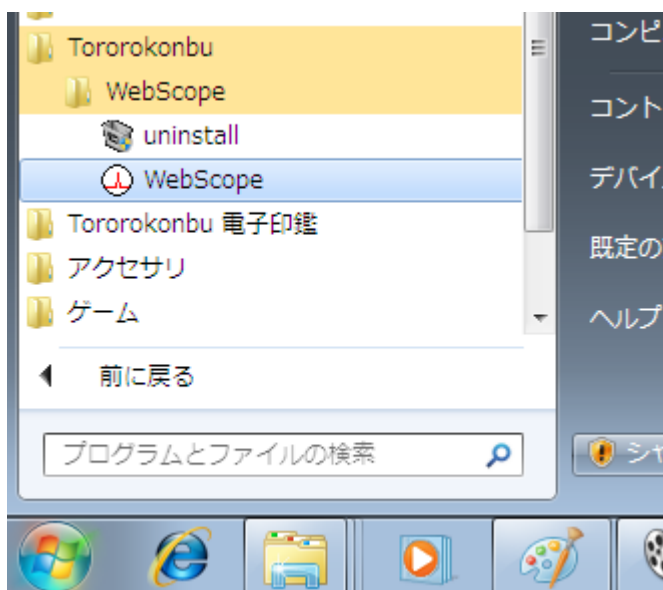


3. 起動とライセンス設定

Windows のスタートメニューから

[Tororokonbu :
WebScope :
WebScope]

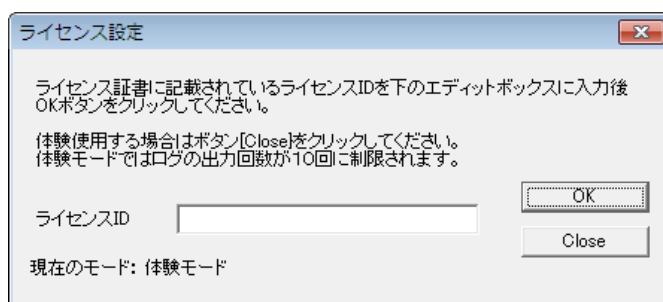
を選択すると WebScope が起動します。



WebScope を初めて起動するとライセンス設定ダイアログが開きます。

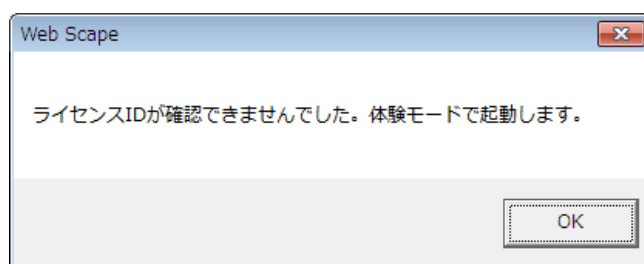
ライセンスを持っている場合はライセンスIDを入力し、ボタン[OK]をクリックします。

体験使用する場合は何も入力せずにボタン[Close]をクリックします。



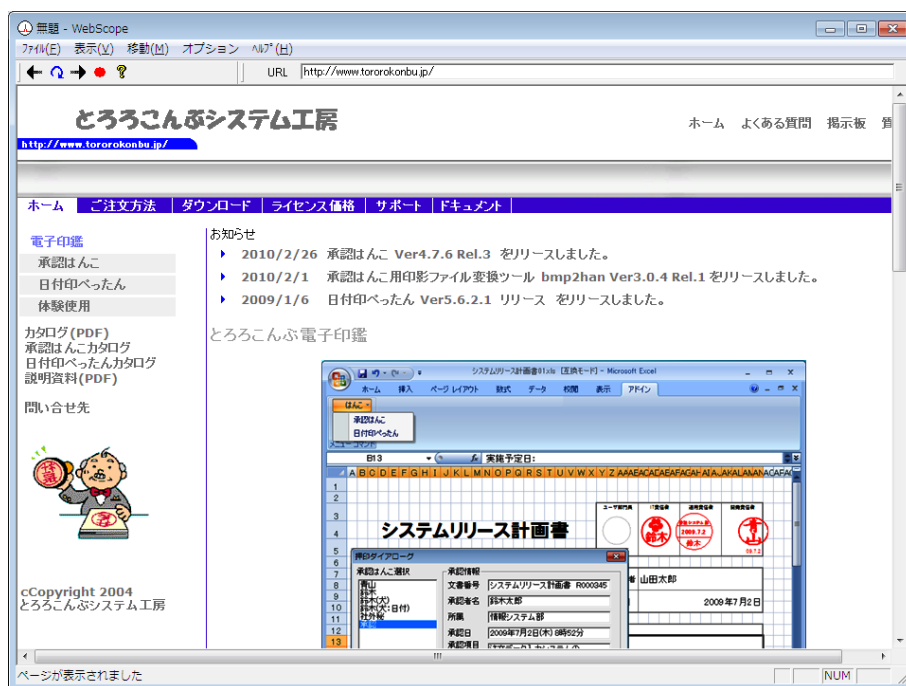
ライセンス設定ダイアログで何も入力せずにボタン[Close]をクリックすると、体験モードで起動するというメッセージが表示されます。

ボタン[OK]をクリックしてください。



WebScope が起動します。

デフォルトURLはとろろこんぶシステム工房ホームページになっています。



4. 設定

ログファイルの出力先とリフレッシュ間隔を設定します。
 ログファイル設定、リフレッシュ間隔を設定する場合はオプションダイアログで行います。

オプションダイアログを開くには、メニュー「オプション」を選択します。



オプションダイアログではログファイルの出力先とリフレッシュ間隔が設定できます。



ログファイル名の設定






ログファイル名は任意に設定できます。
 Ref ボタンをクリックすればファイルパス設定ダイアログが開きます。
 デフォルトでは マイドキュメントフォルダー (C:\Documents and Settings\ユーザ名\My Documents) 下のファイル名 webscope.log になります。

リフレッシュ間隔の設定

WebScope はリフレッシュ（更新）するたびにログ出力します。
 リフレッシュ間隔はデフォルトでは10分ですが、分単位で任意に設定できます。

5. 操作ボタン

操作ボタン  については下の表を参照ください。

	戻る。IEの戻るボタンに相当します。
	更新。IEの更新ボタンに相当します。リフレッシュが実行されログが出力されます。
	進む。IEの進むボタンに相当します。
	中止。IEの中止ボタンに相当します。データ読み込みが中止されます。
	バージョン情報が表示されます。

6. ログファイル

ログファイルには
URL (ホームページアドレス)
リフレッシュ開始時刻
リフレッシュ終了時刻
リフレッシュに要した時間 (秒)
が出力されます。

ログの例

```
http://www.tororokonbu.jp/, 06/09 18:36:13, 06/09 18:36:15, 0002,  
http://www.tororokonbu.jp/, 06/09 18:46:13, 06/09 18:46:15, 0002,  
http://www.tororokonbu.jp/, 06/09 18:59:06, 06/09 18:59:08, 0002,  
http://www.tororokonbu.jp/, 06/09 19:09:06, 06/09 19:09:08, 0002,  
http://www.tororokonbu.jp/, 06/09 19:19:06, 06/09 19:19:08, 0002,
```

ログの出力先については「4. 設定」をご覧ください。

デフォルトではマイドキュメントフォルダー (C:¥Documents and Settings¥ユーザ名¥My Documents) 下に生成されます。

参考)以前のバージョンではWebScope.exe と同じフォルダーにログが吐き出されていました。Windows7/Vista の場合、WebScope のインストール先を “program files” にすると、書き込まれたデータが別のフォルダ (隠しフォルダー) に強制的に移されてしまうため、マイドキュメントに吐き出されるようにしました。

AppendixA CHtmlView クラス

WebScope は Internet Explorer HTML Viewer ActiveX オブジェクトモデルをカプセル化した CHtmlView クラスを用いています。

CHtmlView クラスは、MFC のドキュメント/ビュー アーキテクチャにおける WebBrowser コントロールの機能を提供します。

WebScope のリフレッシュは Refresh メソッドではなく Refresh2 メソッドを用いています。

Refresh2 (REFRESH_COMPLETELY) ;

Refresh と異なり、Refresh2 には、更新レベル設定用のパラメータがあるからです。

Constants

REFRESH_NORMAL

Refresh that does not include sending the HTTP "pragma:nocache" header to the server.

REFRESH_IFEXPIRED

Refresh that occurs if the page has expired.

REFRESH_CONTINUE

For internal use only; do not use.

REFRESH_COMPLETELY

Refresh that includes sending a "pragma:nocache" header to the server (HTTP URLs only).

Remarks

The "pragma:nocache" header tells the server not to return a cached copy but to ensure that the information is as fresh as possible. Browsers typically send this header when the user selects Refresh, but the header can cause problems for some servers.

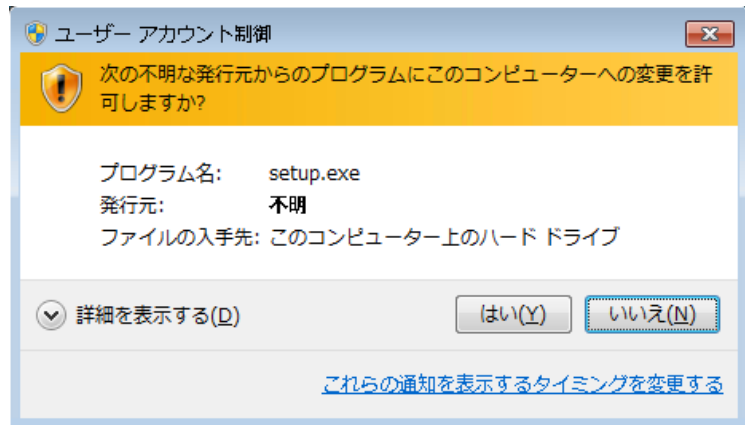
Appendix B. セットアップツールに付加されているデジタル証明書について

承認はんこのインストーラ setup.exe には グローバルサイン社発行のとろろこんぶシステム工房 代表 小野寺健一(Kenichi Onodera) のデジタル証明書が付加されています。

パソコンにグローバルサイン社のルート証明書がインストールされていない場合はインストーラ実行時に次のメッセージが表示されます。

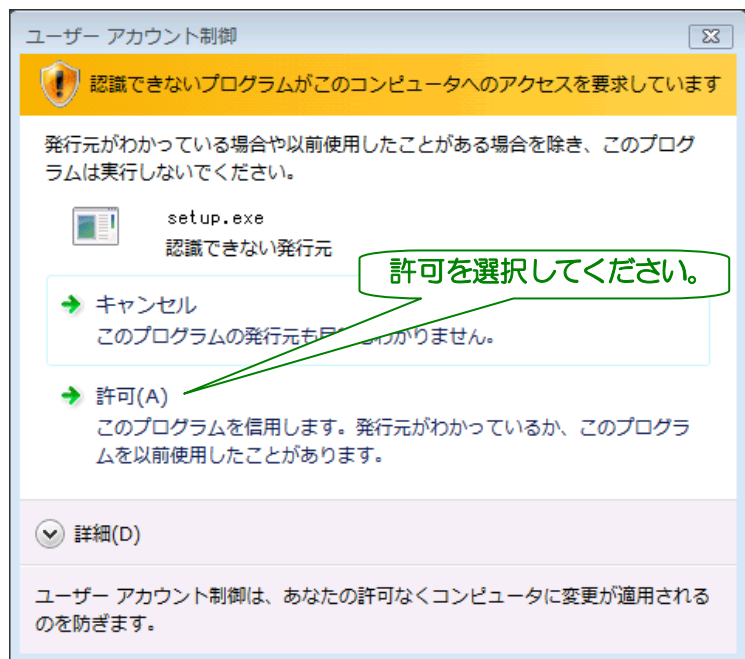
【Windows 7 の場合】

右図の表示が出ますのでボタン「はい」をクリックしてください。



【Windows Vista の場合】

「認識できないプログラムがこのコンピューターへのアクセスを要求しています」と表示されますので、「許可 (A)」を選択してください。



パソコンにインストールされているルート証明書はインターネットエクスプローラのオプションで確認することができます。

おわり
とろろこんぶシステム工房 2010/04/13